

1 人権文化担い手塾スタートアップ支援事業について

(1) 目的

住民主体で人権学習を行うためのプログラムづくり

- ・ 人権学習の企画、司会、助言などを、住民自身で効果的に行うことができるために必要な知識やノウハウをまとめたもの。
- ・ 人権についての理解は、住民相互の話し合いの中で深めていくことを重視する。

人権を基盤に置いたまちづくりのためのプログラムづくり

- ・ 人権を地域で学ぶ目的は、誰もが住みよい地域づくりをするため。そのために、「まちづくり」と「人権」が結びついた事例を紹介する。

(2) 事業の構造

4つのモデル地区による実践

四日市市常磐地区：住民主体の人権の学びの場づくり（地区懇談会の充実）

伊賀市上野西部地区：外国人住民と地域との共生

伊賀市柘植地区：災害弱者のための防災マップづくり

名張市美旗地区：検討中（今年度新規）

検討会（4地区＋自治体職員＋県＋市民社会研究所）

作業部会（市民社会研究所：四日市大学4名、四日市市2名、市民社会研究所2名）

全体とりまとめ（市民社会研究所）

2 常磐地区地区懇談会について

(1) 2006（平成18）年度の調査からみえた課題

住民主体の人権学習への移行が始まったところであり、この流れの安定・強化が必要
人権はよくわからないという意識がかなりある。

司会の方法に習熟することで、より高い効果が期待できる。

司会がすべて任せられるのではなく、適当な助言者の存在が必要。

このことから、今年度は「市民助言者育成」プログラムの作成が加えられた。

(2) 市民社会研究所が地区懇のために行うこと

司会者のための司会術の学習会

市民助言者の派遣（別に助言者養成を行う）

地区懇での参加者アンケートの実施

常磐地区人同協さんとの意見交換会

全体総括

(3) 予定しているテーマ及び講師(助言者)

テーマ	担当
<p>まちづくりと人権(5会場程度)</p> <p>(テーマ例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯・防災と個人情報保護 ・ まちづくりと男女共同参画 ・ 自治会に入らない人とまちづくり ・ 意見の違いを乗り越えるまちづくり ・ 地域の誰もがしあわせになるまちづくり 	<p>四日市NPOセクター会議 (まちづくり関係NPO) その他まちづくり関係者</p>
<p>障害者と人権(5会場程度)</p> <p>(内容例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の自立を考える ・ バリアフリー ・ 「障がい者」という言葉 	<p>四日市NPOセクター会議 (福祉関係NPO)</p>
<p>外国人と人権(5会場程度)</p> <p>(内容例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな国の文化を知る(留学生) ・ 地域における外国人との共生 ・ 在住外国人(ブラジル人など)の生活環境と日本語支援 	<p>四日市大学留学生 四日市市内で外国人への援助活動をしている人々</p> <p>* 留学生は平日夜間はアルバイトをしている学生が多いので、日程については要相談。</p>
<p>患者と人権(3会場程度)</p> <p>(内容例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神障害者と人権 ・ 心の健康 ・ 病院とプライバシー ・ インフォームドコンセント 	<p>四日市看護医療大学</p> <p>* 2名の教員が対応予定 (大西信行 萩 典子)</p>
<p>その他</p> <p>自由にテーマを選択できます。</p>	